

## 人間ドック検査一覧(平成24年4月1日現在。赤色字は2日ドックのみ)

医師診察	胸部聴打診、腹部触診など
問診	自覚症状、病歴、家族歴など
身体測定	身長、体重、肥満度、体脂肪率、BMI、腹囲
尿検査	蛋白、潜血、pH、アセトン体、ウロビリノーゲン、比重、沈渣
眼科系検査	視力(裸眼、矯正)、瞳孔形、対光反射
眼底検査	無散瞳眼底カメラによる眼底像撮影
眼圧検査	非接触眼圧測定
聴力検査	オーディオメーター(1,000Hz、4,000Hz)
呼吸器系検査	39歳以下:胸部X線 40歳以上:胸部X線・マルチCT 肺機能検査(肺活量・%肺活量・1秒量・%1秒量・1秒率)、 <b>喀痰細胞診</b>
循環器系検査	血圧、心電図、心拍数 <b>負荷心電図(運動負荷検査を含む)</b> <b>2日目血圧</b>
消化器系検査	食道・胃・十二指腸X線、又は胃内視鏡検査 ※原則としてX線検査とする。医師が必要と認めた場合は内視鏡検査に変更 便潜血反応(2回)
血清ペプシノーゲン検査	PG I、PG II、PG I / PG II 比(萎縮性胃炎)※隔年実施
超音波検査	上腹部(胆嚢、肝臓、腎臓、膵臓、脾臓)
血液学検査	赤血球数、白血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、MCV MCH、MCHC、血小板数、血液像
生化学検査	AST(GOT)、ALT(GPT)、LDH、 $\gamma$ -GTP、ALP、LAP、ZTT、TTT、総蛋白、アルブミン、A/G比、ビリルビン、CH-E、尿素窒素、クレアチニン、eGFR、P、Ca、Na、K、Cl、尿酸、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、中性脂肪、アミラーゼ、血清鉄、CK(CPK)
糖尿病検査	血糖・尿糖、HbA <sub>1c</sub> <b>糖負荷試験、HOMA-R</b>
血清学検査	血液型(初回のみ)※1、梅毒反応(TPHA、RPR)※2 RF、CRP、HBs抗原※2、HBs抗体、HCV抗体
腫瘍マーカー検査	40歳以上:CEA、AFP、CA19-9、PSA(男性)・CA125(女性)
<b>骨粗鬆症検査</b>	<b>骨密度測定(超音波)</b>
<b>前立腺検査</b>	<b>触診</b>
<b>直腸検査</b>	<b>触診</b>
医師面接	健診当日のデータをもとにした医師による結果説明
各種指導	保健指導、栄養指導
総合判定	

※1 初回以外の方で検査希望される方はお申し出下さい。  
 ※2 省略を希望される方はお申し出下さい。

■料金			
1 日 ド ッ ク			¥47,250
2 日 ド ッ ク	宿泊／ホテルグランヴィア大阪		¥71,400
■オプション			
項 目	検 査 内 容	2日ドック	1日ドック
骨粗鬆症検査	骨密度測定(超音波)	----	¥2,100
糖尿病検査	HOMA-R:インスリン抵抗性指数		¥3,150
子宮頸がん健診	婦人科内診、子宮細胞診(頸部)	¥3,150	¥3,150
乳がん健診	乳房視触診、マンモグラフィ検査	¥4,200	¥4,200
腫瘍マーカー検査	39歳以下:CEA・AFP・CA19-9・PSA(男性)・CA125(女性)	¥7,350	¥7,350
甲状腺機能検査	TSH、fT3、fT4	¥4,200	¥4,200
内臓脂肪検査	腹腔内内臓脂肪CT測定	¥3,150	¥3,150
ヒトパピローマウイルス検査(HPV)	HPV感染検査(子宮頸部細胞診)	¥4,200	¥4,200
心機能マーカー検査(BNP)	脳性ナトリウム利尿ペプチド	¥2,100	¥2,100
血圧脈波検査(CAVI)	血管動脈硬化度検査(血管年齢)	¥2,100	¥2,100
尿中ピロリ抗体検査	H.ピロリ菌感染症検査	¥3,150	¥3,150
* 上記の料金は税込です。			

## ●オプション検査の説明

### ◆腫瘍マーカー検査(40歳以上の方には含まれています)

がん細胞が作る微量の物質で、がんの目印となるのが腫瘍マーカーです。検査は血液でします。どの臓器にできたがんか、どの様な性質のがんなのかを調べることができます。

### ◆骨粗鬆症検査(2日ドックには含まれています)

加齢とともに腰痛や骨折の原因となる骨粗鬆症は、予防効果の高い疾患です。この検査は、超音波で骨の密度(強度)を測定し、その後の効果的な予防と対策が可能です。

### ◆糖尿病検査(2日ドックには含まれています)

HOMA-Rはインスリン抵抗性を調べる検査です。インスリン抵抗性とはインスリン分泌があるにもかかわらず、その働きが低下している状態を指します。内臓脂肪の蓄積によりインスリン抵抗性が出現し、糖尿病・脂質異常症・高血圧などを引き起こし、動脈硬化を促進します。

### ◆乳がん健診、子宮頸がん健診

近年、乳がんが増加しています。乳がんの早期発見には乳房視触診とマンモグラフィ検査(乳房X線撮影)の併用が有効です。子宮細胞診、婦人科内診とあわせて婦人科専門医が診察します。

### ◆甲状腺機能検査(TSH・fT3・fT4)

甲状腺の病気は一般的に女性に多く、バセドー病や橋本病などがあります。血液中のfT3・fT4(甲状腺ホルモン)やTSH(脳下垂体から分泌される甲状腺刺激ホルモン)を測定することで早期の診断が可能です。

### ◆内臓脂肪検査(腹腔内内臓脂肪CT測定)

肥満のうち「内臓脂肪型肥満」は、脂質異常症、高血圧症、糖代謝異常、動脈硬化などを合併しやすく、生活習慣病の原因となります。CTによる内臓脂肪検査は内臓脂肪型肥満の判定をスピーディに行い、「隠れ肥満」(外見は太っていないのに内臓脂肪型肥満の方)の発見に有効です。

#### ◆ヒトパピローマウイルス検査(HPV)

子宮頸がんの99%が、HPVの持続感染が原因で生じることが明らかになってきました。このがんの発生に関連の深いウイルス感染の有無を判定する検査です。なお、この検査は「細胞診」と同じく、子宮頸部の細胞を採取して検査します。

#### ◆心機能マーカー検査(BNP)

心機能が低下するような病気(心不全、心筋梗塞、心筋症)や生活習慣病(糖尿病、高血圧、脂質異常症、肥満など)で心臓に負担がかかる場合、心臓から分泌されるホルモンです。自覚症状が出現する前から、鋭敏に心機能を反映する検査です。

#### ◆血圧脈波検査(CAVI)

心筋梗塞や脳梗塞などは、血管の動脈硬化が主な原因です。柔軟性のあった血管の老化度を、動脈の硬さ(CAVI)や足の動脈の詰まり(ABI)具合で調べます。

#### ◆尿中ピロリ抗体検査

Hピロリ菌の感染は、委縮性胃炎、胃潰瘍や十二指腸潰瘍のみならず胃がんなどの発生に関与していることが報告されています。尿中にあるHピロリ菌の抗体を測定します。除菌治療の判定にはこの方法は適しません。